

資料室

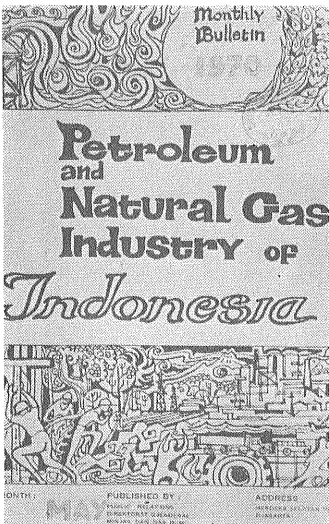
またまた新しく交換が始まった文献について お伝えしましょう。

まず初めに インドネシアの原油と天然ガスの月別生産量・精油量・国内消費量・輸出货量 そして探査状況などの統計値を取り扱った「Petroleum and natural gas industry of Indonesia」ですが これはタイプ印刷の紙質も上等でない月刊誌とはいえ 内容は貴重ななま数字で一杯です(第1図)(英文)。すべての国でこのようななま数字を公表し 交換に応じてくれるならそれが研究者の仕事に大きな貢献となるであろうと考えるのは 資料室員だけではないでしょう。ここしばらく到着が遅れていることは気がかります。

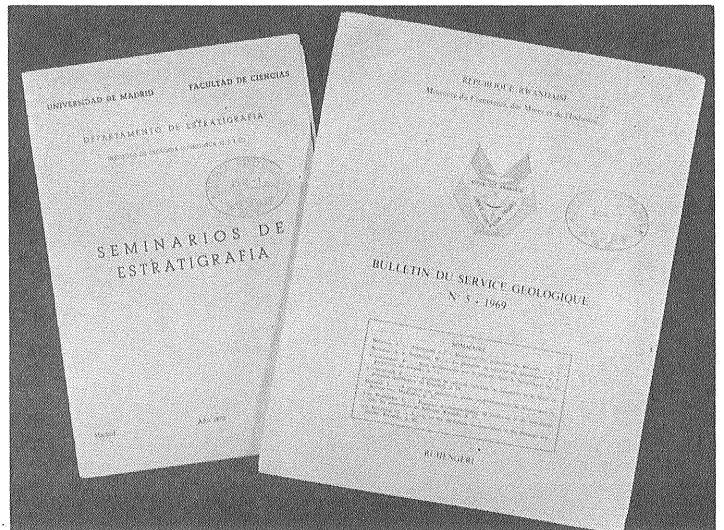
次に スペインのマドリード大学理学部付属の鉱床地質学研究所と 1昨年12月以来 交換が始まった「Seminarios de estratigrafía」ですが これはA5版40 p. ばかりの雑誌で タイプ印刷になるものです。1970年の

6号でみると シエラ山脈地域の古生代の地質およびコルディレラ地方の同じく古生層を取り扱った計2篇の原著論文に折り込みの図葉を加えて 小じんまりとまとまったという感じがする雑誌です(第2図)。同研究所の層位部という1つの部門における研究を対象としているので 発表論文範囲は層位関係に限定されていると思われる(スペイン語)。

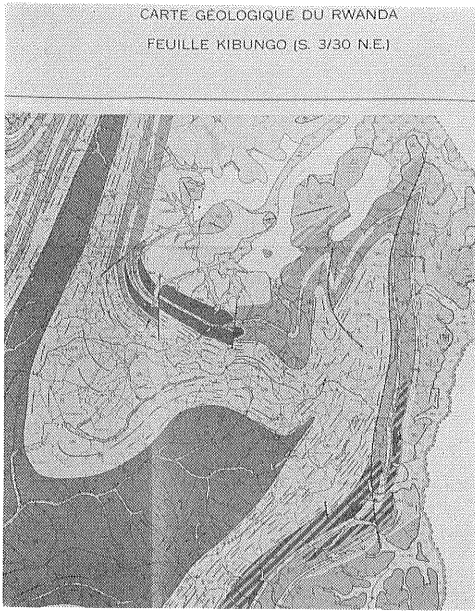
ルアンダ共和国経済省の「Bulletin du service geologique」も交換が始まりました。今のところ 2号(1965)・3号(1966)・4号(1967~1968)・5号(1969)の5冊が入っています。28 cm×22 cmの変形版 1冊45 p. ないし70 p. のもので(第2図) 大部分の原著論文はフランス文 一部がドイツ文・英文で著わされ 雑誌の構成も論文集といえるものです。原著論文のテーマ内容は 鉱物・鉱床・地下資源関係が多数を占め 1つ1つの論文がよくまとまっていて フランス地質学派の影響を感じさせます。写真も美しく アフリカ諸国の中



第1図



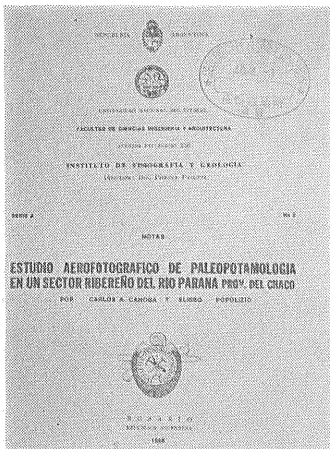
第2図 右 ルアンダ Bull. du Service geol. 左 スペインマドリード大学 Seminarios de estratigrafía



第3図 ルワンダ 10万分の1地質図

ではもっとも学術論文の形をなしているものといえます。なお 1:100,000地質図が5葉入庫しました(第3図)。いささか荒っぽい作図ですが 国全体で15葉に収まるので もっと精緻な地質図がやがて出版されるものと期待できましよう。

アルゼンチンから 新シリーズとして「地文・地質研究所シリーズA」(第4図)が交換となり すでに入庫しています。これは 21 cm×16 cm 小形の雑誌で ページ数も少なく 写真も見難いという欠点をもっていますが アルゼンチンにおける地形・地質の研究状況を知る1つの資料となるものです。 とくに付図・写真類が



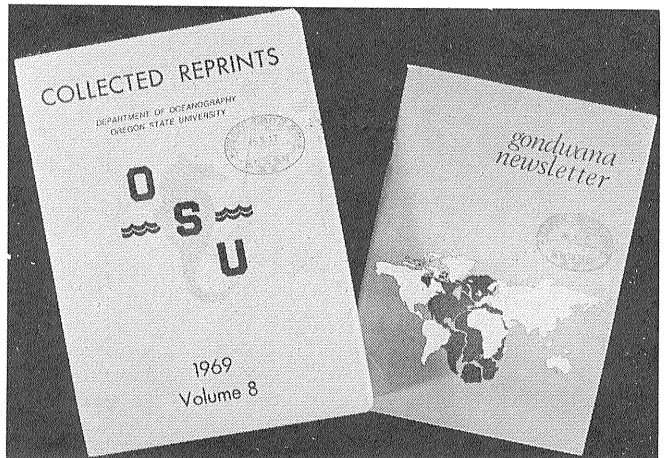
第4図 アルゼンチン Litoral 国立大学 地文・地質研究所報告 Ser .A

本文の紙数ないしそれ以上に組みこまれているので スペイン語というハンディも幾らか減少してくれます。

次に パンフレットのような「Gondwana newsletter」という定期刊行物(第5図)が ブラジルのリオグランデ スル連合大学内の Gondwana 大陸研究センターとの交換文献として到着しました。その序文によると南ブラジルのペルム紀層の研究がいやおうなしに Gondwana 大陸の問題をひき出してきた ということです。創刊号(1969)が届いたばかりですが それは Gondwana 大陸関係の文献集として役に立つでしょう。ポルトガル文・英文・フランス文……と まさに国際的なパンフレットの出版物(22.5 cm×16 cm 51 p.)であり Gondwana 大陸入門の手引といえるものです。

さらに オレゴン州立大学海洋学部が新たな交換先として登場し その「Collected reprints」(別刷集)(第8巻 1969)が入ってきました(第5図)。25 cm×17.5 cm 703 p.という部厚い一冊に83の論文が集録され その論文テーマは海洋堆積物 海底資源 海洋生物 海洋絶対年代 海流 波浪 海底地震 海洋熱勾配……と海洋に関する領域全体に及び さらに海洋関係の5冊の単行本が 抄録・紹介されています。論文執筆者はすべて同海洋学部のスタッフと大学院生ばかりですが 関係研究者にとって便利な編集といえるのではないのでしょうか。

以上のほかに新たなシリーズとして入ることになったのが 1)「MGMI Newsletter」 2)「Cahiers O.R.S. T.O.M., série Géologie」 3)「Geo-index」 4)「해양 거질조사연구보고」の計4種の雑誌です(第6図)。



第5図 左 アメリカオレゴン大学海洋学部 Collected Reprints 右 ブラジル Rio Grande de Sul 大学発行 gondwana newsletter

SOMMAIRE

- 1 - ROUTHIER (P.) — Massifs ultrabasiques, altération et sédimentation en Nouvelle Calédonie ..... 3
- 2 - GUILLON (J.-H.) — Données nouvelles sur la composition et la structure du Grand Massif péridotitique du Sud de la Nouvelle Calédonie 7
- 3 - TRESCASES (J.-J.) — Premières observations sur l'altération des péridotites de Nouvelle Calédonie ..... 27
- 4 - BALTZER (F.) — Les formations végétales associées au delta de la Dumbea (Nouvelle Calédonie) ..... 59
- 5 - LAUNAY (J.) et TRESCASES (J.-J.) — Analyses thermiques différentielles de quelques gels et produits microcristallins synthétiques .... 85
- 6 - PARROT (J.-F.) et RAMBAUD (D.) — Distribution de quelques éléments en trace (Pb, Mn, Ga, Cr, V, Cu, Zn, Zr, Ni, Co, Sr, Li) dans un cortège ophiolitique de type alpin - I. Roches totales ..... 85

Liste des Géologues O.R.S.T.O.M. .... 107

SOMMAIRE

- 1 - BERNAT (M.) — Utilisation des méthodes basées sur le déséquilibre radioactif dans la géologie du Quaternaire ..... 3
- 2 - DUPONT (B.) et LÉVÊQUE (C.) — Biomasse en mollusques et nature des fonds dans la zone est du lac Tchad ..... 29
- 3 - PARROT (J.-F.) — Etude d'une coupe de référence dans le cortège ophiolitique du Pindé septentrional (Grèce) : La vallée de l'Aspropotamos ..... 35

SOMMAIRE

- FAURE (H.) — Introduction ..... 3
- 1 - FAURE (H.) et SERVANT (M.) — Evolution récente d'un bassin Continental : Le Tchad : Programme d'étude ..... 6
- 2 - DUPONT (B.) — Distribution et nature des fonds du Lac Tchad (nouvelles données) ..... 9
- 3 - DUPONT (B.) et DELIBRIAS (G.) — Datation par le carbone 14 d'un niveau sédimentaire de l'archipel du lac Tchad ..... 43
- 4 - DUPONT (B.) et DELAUNE (M.) — Etude de quelques coupes dans le quaternaire récent du Sud du lac Tchad ..... 49
- 5 - CARMOUZE (J.-P.) — Salures globales et spécifiques des eaux du lac Tchad ..... 61
- 6 - ROCHE (M.A.) — Evaluation des pertes du lac Tchad par abandon superficiel et infiltrations marginales ..... 67
- 7 - MAGLIONE (G.) — Le glaement chloro-sulfaté sodique de l'île de Napal (archipel du lac Tchad) ..... 81
- 8 - SERVANT (M.) — Données stratigraphiques sur le quaternaire supérieur et récent au nord-est du lac Tchad ..... 95
- 9 - SERVANT (S.) — Répartition des diatomées dans les séquences lacustres holocènes au nord-est du lac Tchad ..... 115
- 10 - MALEY (J.), COHEN (J.), FAURE (H.), ROGNON (P.) et VINCENT (P.M.) — Quelques formations lacustres et fluviatiles associées à différentes phases du volcanisme au Tibesti (nord du Tchad) ..... 127
- 11 - EHRLICH (A.) et MANGUIN (E.) — Examen de quelques diatomites du Tibesti et du Bahr-el-Ghazal (Tchad) ..... 153

1)の「MGMI Newsletter」はインドの探鉱・地質・冶金研究所の発行になる 24,5 cm×18,5 cm 14 p. の月刊誌で 鉱山・鉱床・人事などの消息を伝え 鉱産の現状をニュースにしたパンフレットといえます。したがって 資源地質の分野では役に立つに違いありません。

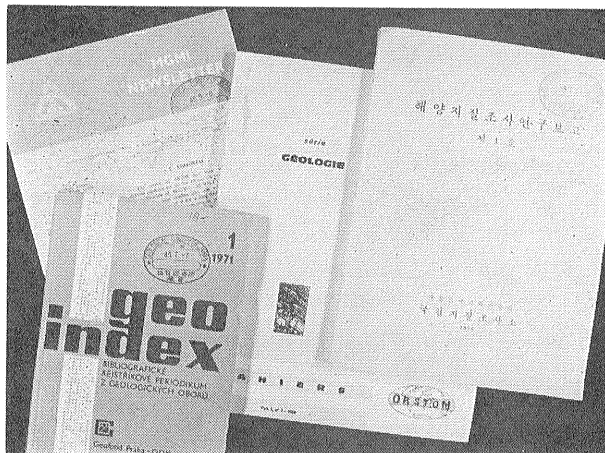
2)の「Cahiers O.R.S.T.O.M., série Géologie」は 27cm×21cm 1冊 100 p. 前後の センスのよいレイアウトの雑誌で フランスの O.R.S.T.O.M. (Office de la Recherche Scientifique et Technique Outre-Mer) が発行し始めたものです。半年刊で その掲載論文(仏文)のテーマを第1表に掲げておきます。

3)の「Geo-index」はチェコスロバキアがプラハの「Geofond」から出版させ始めた地質文献目録で その取り扱い文献は世界各国にまたがっているとはいえ 何と言ってもチェコスロバキア関係のものを知ることができるということは魅力でしょう。 20 cm×14,5 cm 155 p. 前後の月刊誌です。ポイントが小さいタイプ印刷の点は改善されるものと期待しています。

4)の「해양지질조사연구보고」(海洋地質学・海洋地球物理学報告)は 韓国地質調査所が1970年12月から発行を始めた 25,5 cm×19 cm 120 p.前後の朝鮮語か英語を用いた雑誌で 本文が朝鮮文の場合には長文の英文抄

録が付してあります。念のため 第1巻第1号(1970年12月)の掲載論文を英文で示すと

1. Aeromagnetic Survey of offshore Korea.....p.3~40 図11 表1 (朝鮮文)
2. Report of geological investigation of islands off the south coast of Korea.....p.41~78 図8 写真10 (朝鮮文)
3. Study on the Bottom sediments in the sea area off the west coast of Korea.....p.79~100 図3 写真9 表5 (朝鮮文)
4. Recent foraminifera in the Korean Yellow Sea.....p.101~122 図1 表3 写真3 (英文)



第6図 上左 インド MGMI Newsletter  
 中 フランス ORSTOM Cahiers, sér. géologie  
 右 大韓民国地質調査所 海洋地質学海洋地球物理学報告  
 下 チェコスロバキア geoindex